



玄関ドア〔断熱枠〕

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて固定してください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・指定個所にはシーリング処理をしてください。
 - ・シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・コーキング材は、1成分系変性シリコーンを使用してください。(別途)
 - (ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■取付け上のお願い

- 本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。
- 枠の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- 縦枠は、下枠下端より100mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。土間以外の納まりに使用する場合は、下枠部の防水施工を行ってください。

■ねじ一覧表(枠取付け用)

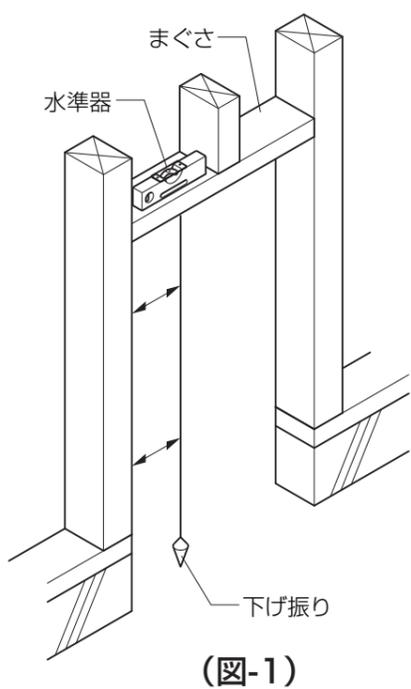
㊦	㊧	㊨	㊩
特平皿木ねじ φ3.8×65(上枠用)	特平皿木ねじ φ3.8×82(縦枠用)	特平皿木ねじ φ3.8×32	スクリーナ釘 φ2.1×25

■取付け順序

1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振りで前後・左右のくずれや、柱のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。(図-1)

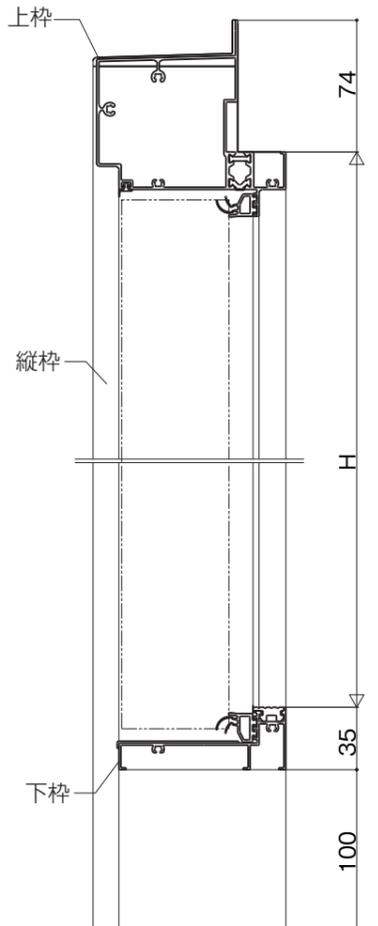
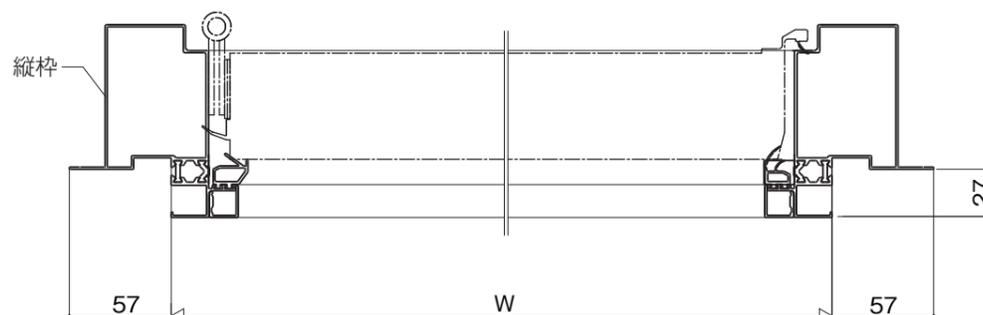
■縦断面図



■製品基本寸法

開口寸法	
W	939
H	2330

■横断面図



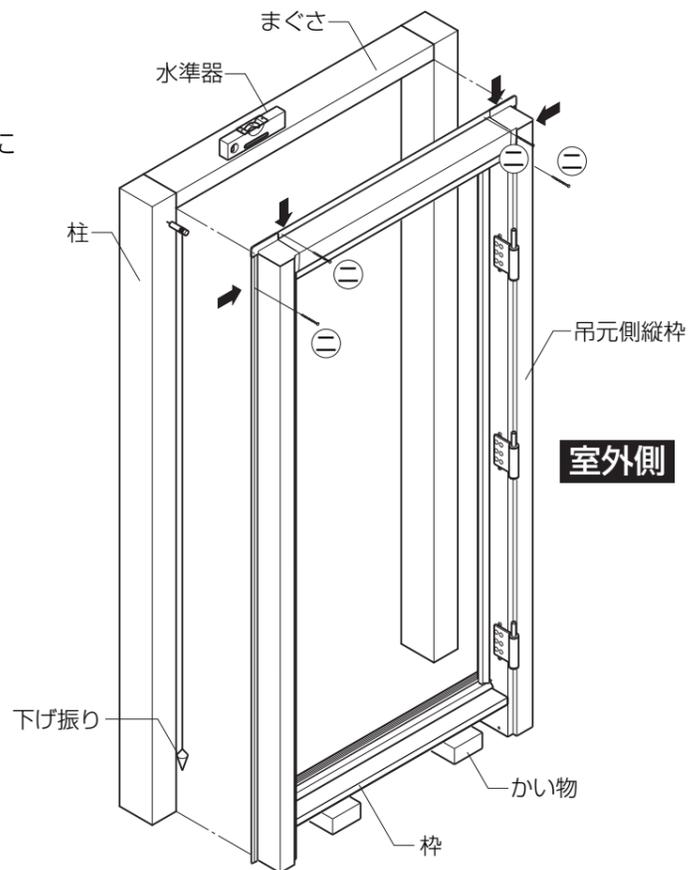
2 枠の仮止め

※図中の記号は、取付けねじの種類を表します。

①枠を開口部に仮止めします。

※(➡)の位置に仮止め用の釘穴(長穴)があります。

※下枠垂れ下がり防止対策として、下枠下部にかい物を入れてください。又、施工中は下枠の上には乗らないでください。枠が変形するおそれがあります。



3 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

①吊元側縦枠を(八)のねじで固定します。

②同じく(□)のねじで吊元側縦枠を固定します。

③柱に(□)皿木ねじの掛かりが確保されていることを確認してください。

④ドア本体を枠に吊込んでください。

※軸が長い、上側の丁番から先に合わせると吊込みやすくなります。

⑤上下(↑)および、左右(➡)のすき間を均等にし、戸当り気密材が密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。(図-2)

⑥枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、枠を固定してください。

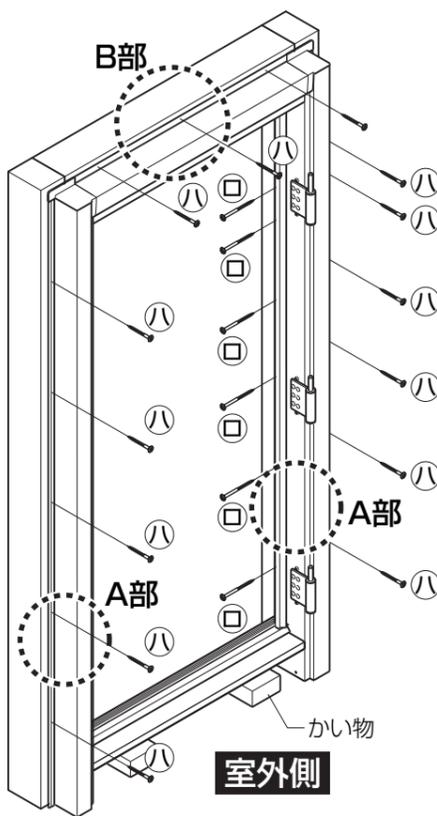
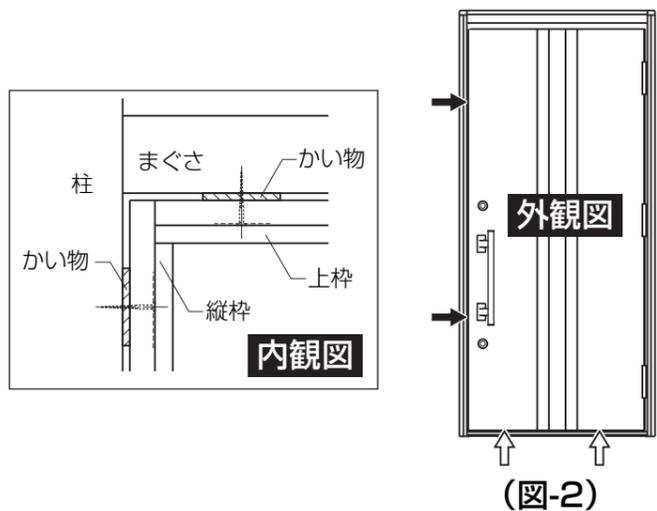
※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

▲注意

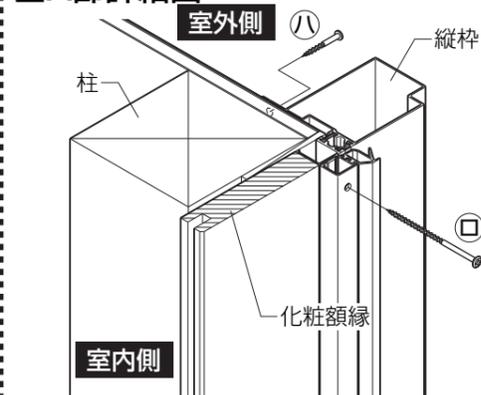
●ドア本体に錠セットを取付け、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて固定してください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。

■非木造納まりの場合

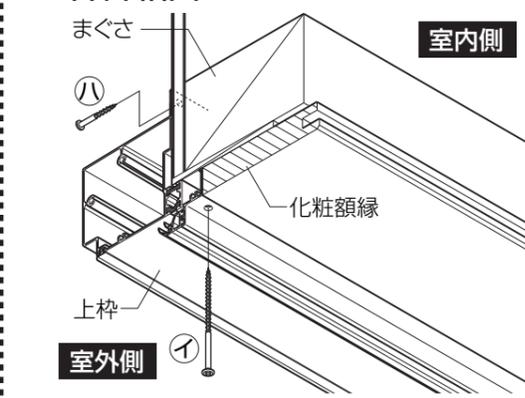
●アンカーは別売りを使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。



■A部詳細図



■B部詳細図



※躯体に固定する際に枠が下記の寸法になっているかを確認して取付けてください。

●枠のWたいこ・つづみ

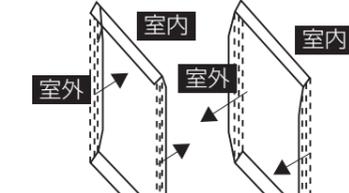
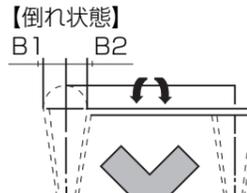
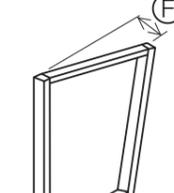
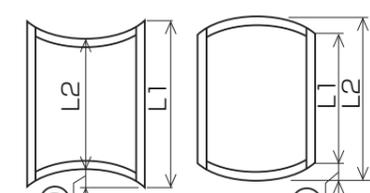
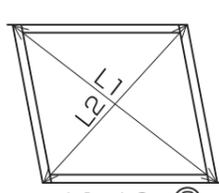
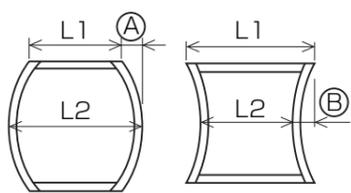
●枠の対角

●枠のHたいこ・つづみ

●枠のねじれ

●枠のたおれ

●枠のそり



L2-L1	A・B
3	1.5

C
3

L1-L2	D
L2-L1	E
3	2

F
2

G
B1 : 2 B2 : 2

H
内 : 1 外 : 1

■建付け調整

お願い
※電動ドライバーを使用しないでください。

※ドア本体を吊込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは、「■参考納まり図」を参照してください。)

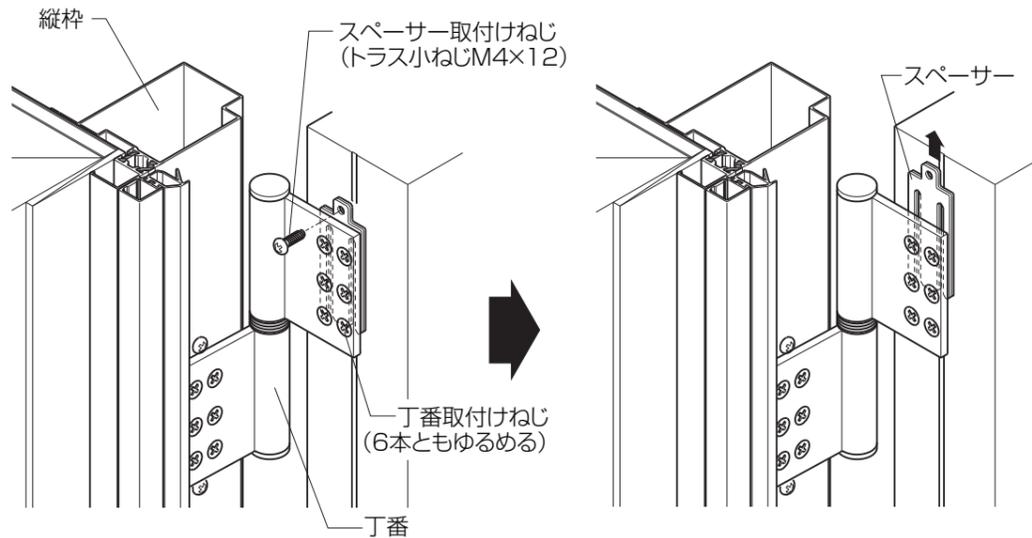
1 左右方向のすき間の調整

※スペーサーは、あらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(6本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊元側へ寄ります。

※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



▲ 注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落してケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })

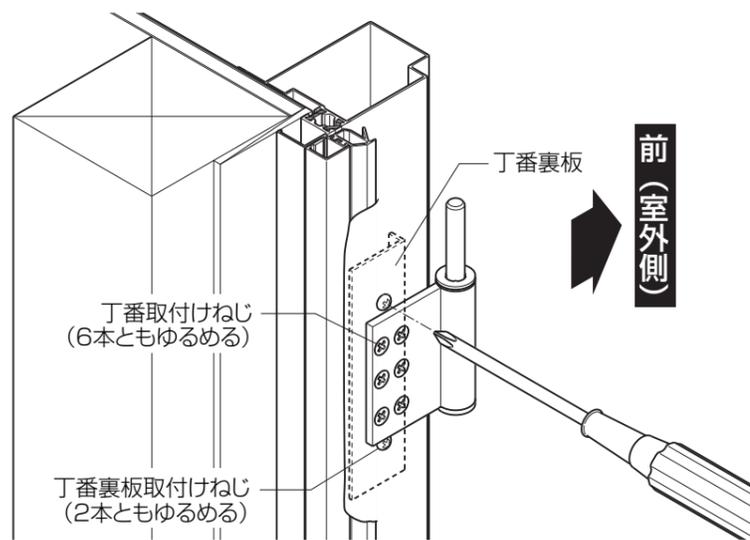
2 前後(室内・室外側)方向の調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(6本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

お願い
※取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。

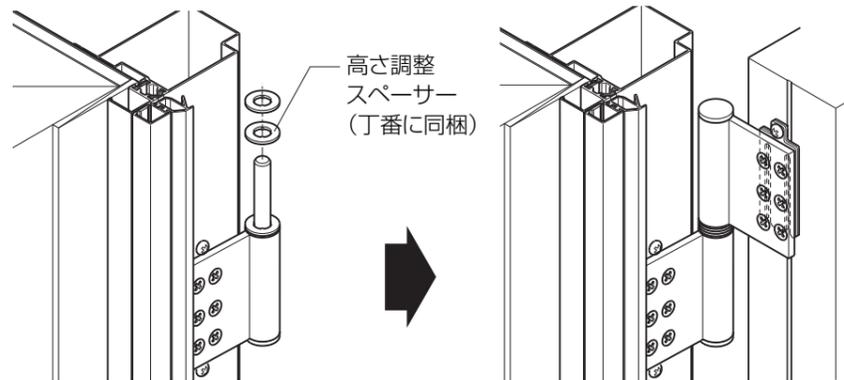
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと、丁番裏板取付けねじを締付けます。



3 上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。

※1枚入ると1.5mm、2枚入ると3mmドアが上に上がります。

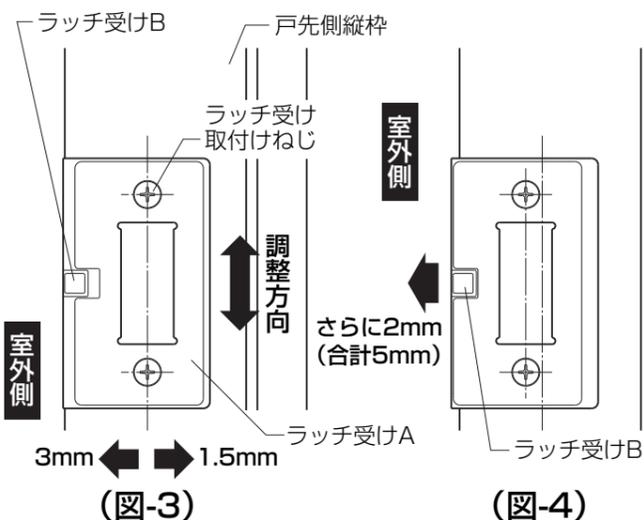


4 ラッチ受け・ストライクの調整

1 ラッチ受けの調整(図-3、図-4、図-5)

※ドアクローザーでラッチが1個しかかからない、あるいは2個ともかからない場合、ガタが大きい場合にラッチ受けを調整してください。

- ①ラッチ受けの取付けねじを2本とも回しゆるめます。
- ②ラッチ受けの位置を合わせてからねじを締直します。

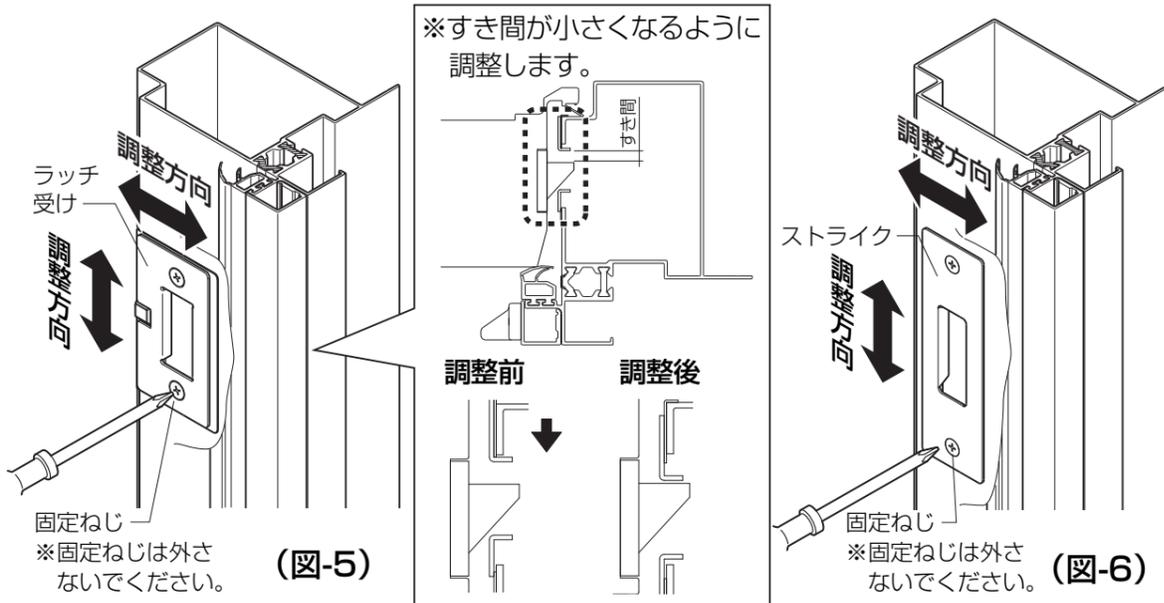


2 ストライクの調整(図-6)

※ラッチ受け調整後、どうしても鍵が掛からない場合に実施してください。

- ①ストライクの取付けねじを2本ともゆるめます。
- ②ストライクの位置を合わせてからねじを締直します。

お願い
※ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロコケが脱落し、取付けられなくなります。
※ラッチ受け・ストライクの調整はドアクローザーの調整と合わせて行ってください。
※下側のラッチは上側のラッチよりガタを大きめにもたせてください。
※ラッチを調整する際は、片方のラッチをテープなどで固定する対応をしてください。



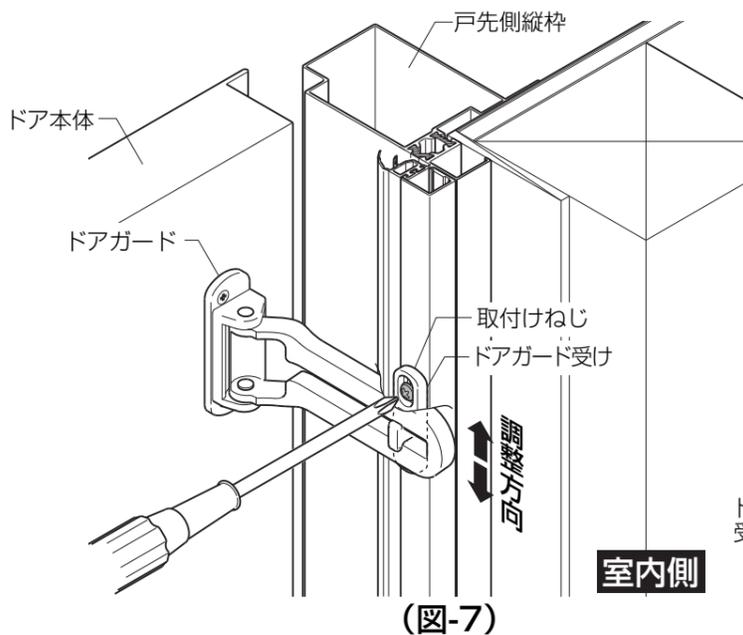
5 ドアガードの調整

※ドアガードアームはあらかじめドア本体の加工穴に合わせ、指定のねじで取付けてください。

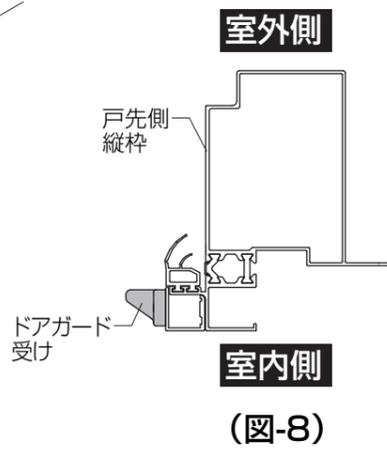
※ドアガードがドアガード受けに掛からない場合は、ドアガード受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

●ドアガードアームがスムーズに操作できるか、確認してから本固定してください。(図-7)

※調整後、ドアガードとドアガード受けが干渉してかからない場合は、ドアガード受けを通常と逆向きに取り付けてください。(図-8)



(図-7)



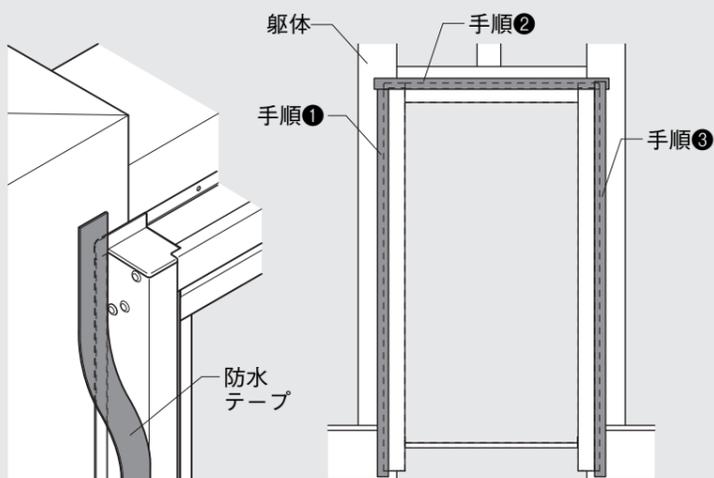
(図-8)

■ 枠周りへの防水テープの張付けと壁のシーリング処理

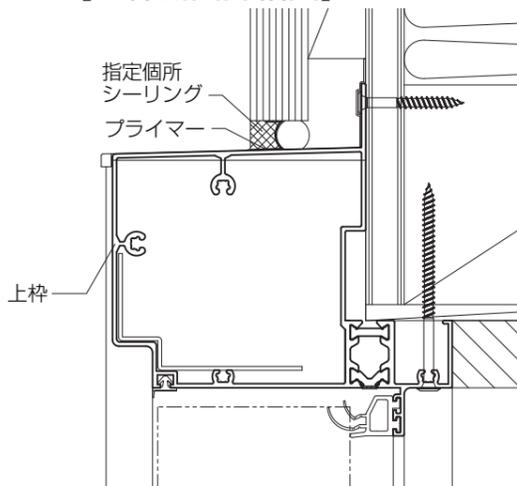
●枠周りの漏水防止のため、防水テープの張付けと、指定個所へのシーリング処理をします。

▲ 注意

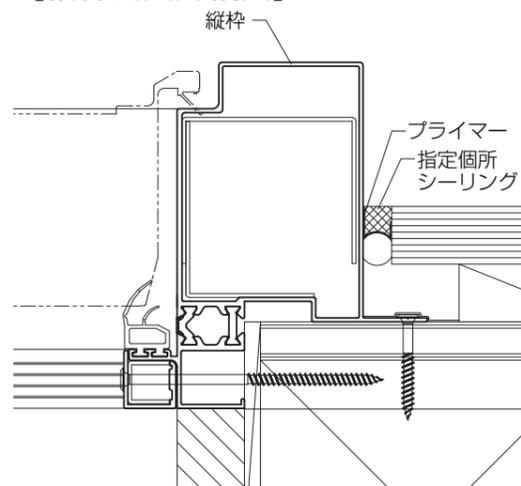
●本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



【上枠断面詳細図】



【縦枠断面詳細図】

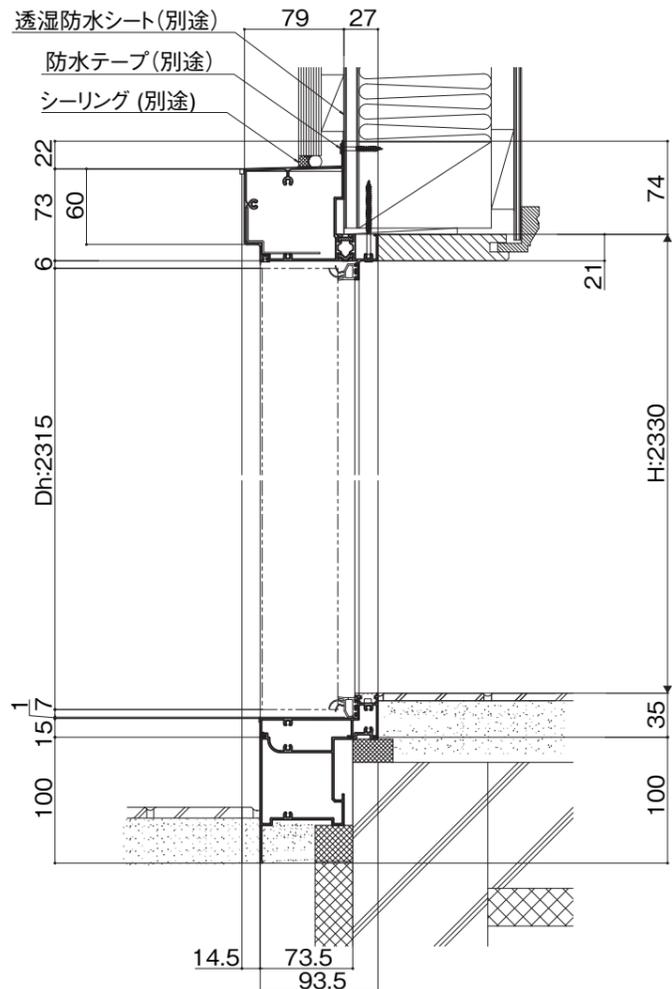


▲ 注意

- 指定個所にはシーリング処理をしてください。
- シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
- コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)(ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■ 参考納まり図

● 縦断面図



● 横断面図

